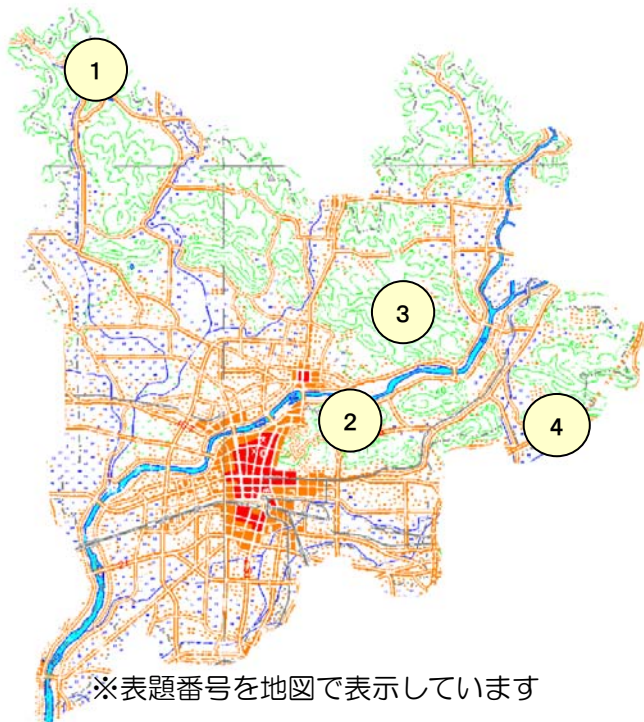


岐阜市自然・環境活動ニュース

2011年5月号

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとする誇るべき自然環境が多くあります。その一方で、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備などにより貴重な自然環境が減少している事実があります。そのような現状の中、今一度岐阜市の自然環境を見つめ直し、私たちの財産として、自らの手で素晴らしい自然環境を次代へ引き継ぎましょう。岐阜市の自然や環境活動の情報を「岐阜市自然・環境活動ニュース」としてお伝えします。



①「上雛倉自然観察会」開催報告

4月8日(金)に岐阜市北部の上雛倉で自然観察会が開催されました。雨の中、岐阜県植物研究会の近藤慎一さんの案内で、春の上雛倉を散策しました。

上雛倉がある雛倉・佐野地域は岐阜市内の動植物の豊かな場所です。この地域でしか確認できない希少種もあります。

濃尾平野の北端でもあり、陸生の貝類も多く見られる場所です。



散策後は、近藤慎一さんを囲んで、意見交換会が開催されました。



5月21日(土)には、上雛倉エコクラブの皆さんを中心に地域の方々、子どもたちが参加をして、自然観察会が開催されました。

近くの川での魚とりです。たくさんの魚や貝が取れたので、岐阜県河川環境研究所の米倉竜次先生に解説をしていただきました。



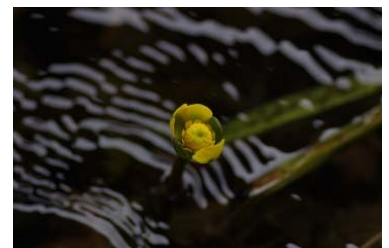
近くの池の上の枝を見てみるとモリアオガエルの卵です。



②達目洞では、ヒメコウホネの花が咲きました。

例年は、4月中～下旬に咲き始める「ヒメコウホネ」ですが、今年は2週間ほど遅く咲き始めました。

右の写真は、地元にお住まいの方からの投稿写真です。待ち遠しかった「ヒメコウホネ」の花も咲き始め、達目洞は春から初夏へと移っていきます。



5月2日(月)には、岐阜市立岐阜東幼稚園のちびっ子たちが春の遠足で達目洞を訪れました。年長、年中さん22名の訪問です。まだヒメコウホネは「かわいいつぼみ」のままです。みんなでつぼみを探しました。その後、春の達目洞を探検です。



妙見宮へお参りをし、谷底ハイキングコースを通過して、金華山の国有林の入り口で休憩し、達目洞へ戻りました。

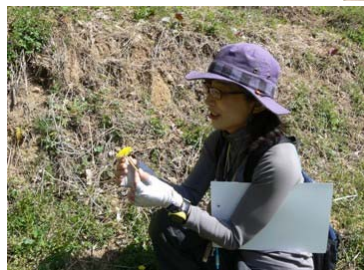


達目に戻り、ヒキガエルのオタマジャクシの観察もしました。春の達目洞を満喫できたかな？

③「負けるな東北・百々ヶ峰チャリティ登山」開催報告

4月13日(水)にNPO法人ふれあいの森自然学校の主催で森の案内人と行く「負けるな東北・百々ヶ峰チャリティ登山」が開催されました。

この登山は東日本大震災の被害にあわれた方へのチャリティとして開催され、三田洞側と古津側の両方から山頂を目指し、山頂にて合流し黙禱を捧げました。



途中では森の案内人さんから、植物や鳥の名前や由来、生活史に絡めた豆知識などの解説がありました。

山頂では三田洞側と古津側のグループが合流しNPO法人ふれあ

いの森自然学校代表の中山さんより東北での大震災に関する思いが語られ、参加者全員で黙禱をささげました。平日にもかかわらず25名もの方が参加され、多くの義援金が集まりました。

参加者した皆さんは、被災していない地域に住める有り難さ、岐阜の自然のすばらしさをより体験できたと思います。



④春の「大洞の里山つくろう会」の活動紹介

春の大洞は里山の恵みで一杯です。4月23日(土)の活動は、春の恵みを食す活動です。前夜からの雨にも関わらず、大洞の里山には地域の方が集まりました。コシアブラを天ぷらにいただきました。

整備された里山からは、いろんな恵みがもたらされます。この恵みは活動の励みになるだけでなく、地域の多くの方が里山を訪れるきっかけになります。



5月28日(土)の活動は、伐木や散策路整備です。現在、大洞の蓮田から硯石までの散策路は整備が進んでおり、看板の設置なども行われています。



活動には地域の方々の参加も増えてきました。中学生も毎月参加してくれるようになり、活動メンバーの幅も広がってきました。



これからの季節、まむしや蜂の活動も活発化します。里山に入る時は注意をしてください。

—岐阜市の自然・環境活動に関する問い合わせ—

岐阜市 自然共生部 自然環境課

TEL : 058-265-4141 (内線 : 6451) FAX : 058-267-1374

Email : shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」 <http://gifu-nature.net>